



外国文献紹介

エプスタイン奇形における心房心室の変形と心不全について—心臓 MRI 装置を用いた研究—

Steinmetz M et al : Atrio-ventricular deformation and heart failure in Ebstein's anomaly : a cardiovascular magnetic resonance study. Int J Cardiol 257, 54-61, 2018

筆者らは、エプスタイン奇形 30 例および健常例 20 例に対して心臓 MRI 検査を実施した。フューチャートラッキング法（FT 法）による心臓の動態解析を行い、心不全の指標との関係を調べた。心房に関しては、長軸方向のストレインやストレインレートを用いて、リザーバー機能、ポンプ機能などについて調べた。右室および左室の長軸方向のストレイン、左室の円周方向や重心方向のストレインも調べた。また容量計測の際、心不全の重症度の指標を求めた。その結果、エプスタイン奇形では、右房に著明な運動障害を認め、心不全の重症度と良好な相関を示した。心臓 MRI 装置による FT 法は、エプスタイン奇形などの心奇形のある患者の心房および心室の機能を評価するうえで有用と思われる。また、FT 法で得られる指標は、エプスタイン奇形の患者の経過を追う際に、心機能の悪化を早期に示す指標となる可能性がある」と述べている。

瀬戸一彦